

**子どものインフル
エンザ予防接種に
助成を**



木野田 誠 議員
動画視聴

問 インフルエンザの予防接種料金は、家族全員で受けると家計に大きな負担となる。子育て日本一を目指している市長は、子どもの接種料金の一部でも助成できないか。

答 現在、65歳以上の市民を対象として予防接種の費用の一部を公費負担している。インフルエンザ予防接種の性質、効果等を考えると子どもへの接種に対し市が多額をすることになり、現時点では困難である。ロタウイルス等の接種については、今後検討する。

**今後の森林整備計
画は**



新橋 実 議員
動画視聴

問 一部の森林伐採業者が誤伐と偽り、盗伐している現状があるようだが、その対策をどのように考えているのか。また、今後の森林整備計画はどう進めるのか。

答 森林所有者が知らない間に伐採された事案は、平成25年以降5件あったが、盗伐と認められた事例はない。誤伐等の問題も踏まえ、伐採業者から伐採届の提出があった場合、森林所有者に平成29年度から確認している。また、国や県の施策を十分活用し、林業の担い手の育成や森林整備の集約化によるコスト削減を図り、間伐や再造林対策を計画的に進め

**中山間地域での住宅確保
へ支援を**

問 ふるさと創生総合戦略や中山間地域の活性化を考え、公営住宅法に縛られない定住促進住宅の建設や公営住宅の弾力的な運営は検討できないか。

答 公営住宅から公営住宅への転居を、一定の条件のもと可能にできないか検討している。これまでの概念に捉われないこと、弾力的な運用ができるよう、あらゆる機会において国への要望に努めたい。

問 地区自治公民館等が借上げる空き家に対し、改修費用の助成はできないか。

答 現在は、補助の対象にはなじまないと考えるが、長期にわたり自治公民館の施設として活用することで、まちづくり実施計画への掲載等の諸条件が整えば検討したい。

材の安定供給体制づくりに取り組みたい。

**市営住宅の空き家対策を
どう考えているか**

問 国分・隼人地区の空き家の状況と要因をどのように考えているか。その対策はどうか。

答 空き家戸数は、国分・隼人地区で427戸あり、空き室が多い一方は、管理戸数が多い一方で、民間による共同住宅の供給が増加していることや建物が老朽化していることが要因とされている。今後、老朽化した市営住宅は解体撤去し、管理戸数の適正化を図り、年次的・計画的に外壁改修工事や個別改善工事等を行い、空き室改善を図る。

その他の質問

・入札制度改革について

**川跡く新川線の終
点から松木集落へ
の計画は**



池田 綱雄 議員
動画視聴

問 松木地区は、天降川小学校の新設に伴い、周辺の畑が住宅化され人や車が増えている。狭い道路を車や小中高校生が非常に危険な状態で通行している。現在、工事中の川跡く新川線の終点から松木集落への道路拡幅の計画はないか。

答 川跡く新川線は平成17年度から着手しており、2020年度の完成を目指している。終点から集落内の整備は道路の幅員が狭いため、車や歩行者の安全対策が必要と考える。他の事業の進捗状況等を勘案し検討したい。

**本市の小、中学生
の学力向上策は**



宮田 竜二 議員
動画視聴

問 本市の小学6年生、中学3年生の「全国学力テスト」正答率は全国平均より低いが、土曜授業等での補習状況はどうなっているのか。

答 土曜授業により年間30時間授業時数が増えたため、各学校の課題に基づいた学力向上策にも取り組むように指導している。

問 学力向上を目的として「放課後子ども教室」を新たに事業追加する考えはないか。

答 活動拠点の確保や学習支援をはじめとする多様なプログラムの企画・運営、安全管理に携わる

**本市の外国人労働者の現
状は**

問 外国人労働者は、少子高齢化を背景とした深刻な人手不足を補う人材として欠かせない存在となっている。市内で働く外国人労働者数はどうか。

答 霧島市で働く外国人労働者は、昨年10月末現在で96事業所347人となっている。業種別では、製造業27事業所168人、農業・林業5事業所43人、宿泊・飲食サービス業14事業所24人、建設業8事業所23人、医療・学習支援業4事業所15人などとなっている。



地域行事に参加した外国人の皆さん

人材確保が大きな課題であり、現時点での導入は困難である。

鳥獣被害対策と活用策は

問 鳥獣被害に対する施策の状況はどうなっているのか。

答 電気柵やワイヤーメッシュ柵等での鳥獣の侵入防止対策を講じている。捕獲対策については、箱罠等の捕獲器や無線機等を捕獲隊に貸与して体制の充実を図っている。

問 鳥獣処理加工施設を建設して、被害対策の促進と霧島特産ジビエとして拡販し、資源の有効利用に取り組む考えはないか。

答 衛生管理面などの安全性確保や安定供給さらには販路の開拓等も含め、課題が多いことから、調査研究を重ねたい。

**全国都市問題会議
の準備はどうか**



下深迫孝二 議員
動画視聴

問 来年度、本市で開催予定の全国都市問題会議には、約2000人の参加が見込まれるが、会場へのアクセスや宿泊施設の確保をどのように考えているか。また、会場の空調や照明等の設備に問題はどうか。

答 来年度の11月7日、8日に国分体育館で開催を予定しており、全国から約2000人の参加を想定している。会場までのアクセスについては、シビックセンター前から会場までバスを出す予定である。宿泊施設については、市内のみでは不足するため鹿児島市までを検討している。また、空調や照明等については、

今後の利便性向上も考慮し、設備の充実を図るための補正予算を今定例会に提案している。

道路管理の徹底を

問 市道等の管理パトロールは、どのように行っているか。また、台風通過後の支障木や杉の葉、枝等の片付けに時間がかかりすぎている。年間委託業者だけでなく複数業者での早い対応はできないか。

答 市道については、職員や年間委託しているシルバー人材センターによりパトロールを行っている。台風通過後は年間委託業者で対応をしているが、状況により作業に時間を要する。今後は、複数の業者と委託することにより、迅速な対応を進めていきたい。

**山ヶ野金山の保
存・活用の促進を**



愛甲 信雄 議員
動画視聴

問 山ヶ野地区は、金山としての文化遺産が注目されている。文化財保護法の改正の趣旨に則した取組はできないか。

答 法改正の趣旨として、文化財をまちづくりの核とし、社会総がかりで継承に取り組み、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や文化財保護行政の推進力の強化を図るとされている。このことから、文化財保護活用地域計画の策定について検討したい。

問 今後、どのように保存・活用していくのか。

答 山ヶ野金山跡については、地域と協力しながら



山ヶ野金山の石垣と紅葉

ら文化財や景観を保存し、地域振興に活用するとともに、観光面でも新たに利活用することができないか検討する。

猿による被害防止策を

問 猿の目撃や被害があることから、必要な対策をとるために、群れ等の調査はできないか。

答 専門家の意見を聞くことや近隣市町との協議、調査研究をしながら検討したい。

その他の質問

・JR肥薩線の減便対策について